



校長室だより



第14号 平成30年7月9日(月)
聖心ウルスラ学園聡明中学校・高等部

県一斉テストの結果から(4月13日実施)

【 県数学テストの結果 】

中学1学年 133校9,235名
 中学2学年 131校9,290名
 中学3学年 133校9,309名
 の生徒が参加したテストの結果がでました。
 下の表は、本校と県北、宮崎県の平均点と
 その差を示したものです。(四捨五入)



	中学1年	中学2年	中学3年
聡明中	86	70	66
男子	88	68	66
女子	83	71	66
県北	66	54	47
宮崎県	66	54	48
県と本校の差	+20	+16	+18

お陰様で、どの学年も平均では県内トップクラスの実力を発揮してくれました。

集団としての成績は、満足できる結果でしたが、個別に目を向けてみると、各学年とも県平均を下回っている生徒が2~3名存在する状況もあります。

テストの結果は既に返却していますので、今一度、自分の結果を振り返り、何が理解できていないかを確認してください。

数学は、論理的思考力を高める教科です。

【 県英語テストの結果 】

中学2学年 124校8,609名
 中学3学年 126校8,624名
 が、参加しました。

結果は下記の表のとおりです。(四捨五入)

数学同様に、英語も県平均を大きく上回りトップクラスでした。

特に、女子の頑張りが目立ちます。

語学系は、コツコツと辛抱強く努力する力が必要です。毎日の積み上げを大切に、家庭での復習に力を入れてください。

なお、1年生は、今回のテストは対象外となっています。

	中学2年	中学3年
聡明中	80	80
男子	76	79
女子	83	81
県北	53	54
宮崎県	56	55
県と本校の差	+24	+25



【 家庭教育20の提言 】

その8 良い習慣をつけない限り、自主性は育たないことを自覚しましょう

自主性とか意欲は、知識や経験も大切ですが、何よりも訓練(習慣づけ)によって育つものです。誰に言われなくても布団を上げ、歯を磨き、靴を揃えることは、自主性そのものですが、その前提に習慣づけがあるのです。

習慣とは、そうせずにはいられない心のことです。よい習慣は自主性の第一歩です。いつかは自主性が育つだろうと待っていても自主性は育ちません。習慣として身に付くように躰(しつけ)なければなりません。

ここでは、家庭学習の習慣づけを例にして述べてみます。学校では、先生が新しい内容を教えますが、それだけでは分からない所が残ることがあります。だから家に帰って、その日に学んだことを復習しなければなりません。教室でよく聞いていれば、ほんの僅かな時間の復習をするだけで学力は確実に付きます。家庭という学校で、もう一度見直して、初めて分かる場合もあります。一度で分からなければ、二度、三度復習します。それでも分からない時は、何が分からないかをメモして、翌日に先生に聞けるように準備をすればいいのです。復習は退屈です。しかし、大切な学習です。学校では、復習の時間を確保することが難しく、次々と新しい内容を教えなければなりません。つまり、前の内容が分からなければ、後から学ぶ内容を理解することがだんだん難しくなってきます。

習慣として復習という勉強が身に付けば、黙っていても学力は向上します。やがて勉強そのものが面白くなることでしょう。復習したことは、簡単に忘れてりしません。応用する力も付き本当の学力になります。家庭学習で一番大切なのは復習です。復習することで、『自ら学ぶ力』が付くようになります。復習から学びの自主性を身に付けさせてください。

【 今後の主な行事 】

月日	行事内容
7/11~20	夏の交通安全県民総ぐるみ運動
7/20(金)	合唱コンクール 聡明中・高等部地区懇談会